

田舎暮らしのみちしるべ

第27号
平成25年10月7日発行

E-mail chiiki@city.iwakuni.lg.jp

新 IJU（移住）応援団の登録 柱島

【柱島群島に IJU（移住）応援団】

このたび柱島に新たに IJU（移住）応援団が登録されました。団体名は「島づくり推進協議会」。木田昭一会長はじめ、笹川清柱島地区自治会連合会長、嶋岡文心柱島漁業協同組合長合計3名の方です。また、空き家の登録もされました。広い岩国市の向峠地区、宇佐地区から錦川を経て瀬戸内海に注ぐ、一連の繋がりができました。海に面した環境で田舎暮らしがしたいとのリタイア層からの問合せもあり、また、岩国市唯一の島であり、海の幸を将来生産できる条件を備えた地域です。現状は高齢化が進んではいますが、元気な島の皆さんが全員で日常活動をされています。陸続きではない不利な条件を今後どのように島の良さを発揮できるように変えていけるか皆様のご支援もお願いいたします。

【柱島での年間行事】5月から10月まで遊漁船体験や地引網を主催。6月陸奥戦没者供養慰霊祭（1938年6月柱島と周防大島の間で戦艦陸奥が沈没。乗り組み員1150名死亡。12月まで柱島島民は遺体収容・茶毘に奔走）。8月盆踊り（旧柱島小中学校校庭）。10月秋祭りが賀茂神社周辺で毎年開催されています。



笹川 清 IJU（移住）応援団



木田 昭一 IJU（移住）応援団



嶋岡 文心 IJU（移住）応援団



浦庄の浜は島をつなぐ砂洲もある、穏やかな浜辺です。



金蔵山山頂より正面愛媛県、広島県、右に周防大島の大眺望が満喫できます。



賀茂神社の秋の大祭

今年は10月13日。清めのあと長い石段を降り、八幡宮まで神輿を担ぎます。

【IJU（移住）応援団交流会で出された意見・要望に対する対応状況】

1. **定住促進には、地域の魅力を育てる努力が大切**：地域の魅力を極力紹介するため、岩国市 UJI ターン「田舎暮らしのみちしるべ」に紹介記事を7月中に8回更新。特に、夏休みに体験してもらいたい岩国の施設及びイベントを紹介した。また、今後、移住者が何を期待しているか等の意見を積極的に入手し、IJU（移住）応援団へフィードバックして地元での受入れの参考にしてもらう。
2. **空き家があるが長年放置され改修に手がかかる**：長年放置されることの対策は検討中だが、柱・梁・土台のしっかりした古民家の再生促進のため実際に古民家を高品質に再生した例を取材し、紹介の準備。
3. **若者等の岩国での職探し支援**：UJI ターン促進事業情報サイト「田舎暮らしのみちしるべ」に掲載されている岩国市公共職業安定所へのアクセス方法及び掲載情報の検索方法を複数回掲載した。今後も行う予定。
4. **田舎暮らしにあこがれる若者は少なくない、実際に何らかの機会に田舎の経験をしてもらう**：継続して岩国市内で活躍する各分野の若者の紹介を、情報サイト「田舎暮らしのみちしるべ」で紹介する。
5. **10年後の集落の姿を想定し、努力を継続的に行う必要がある**：IJU（移住）応援団活動地域の世帯に継続的に移住を促進し、周辺の地域との互助を積極的に進めることができるようにする。

美川ふるさとまつり 10月6日（日） 美川グラウンド

弥栄湖周辺の栗園での栗拾い（美和町） 10月17日（木）～24日（木）

岩国まつり 10月19日（土）、20日（日） 岩国市駅前付近

柱島秋祭り 10月13日（日） 13時から、賀茂神社周辺。

YOU・ゆう・フェスタ 2013（由宇町） 10月26日（土）前夜祭、
27日（日）潮風公園みなとオアシスゆう

美和サンチャロウまつり 11月3日（祝日） 弥栄湖スポーツ公園黒沢
グラウンド

本郷ふるさとフェスタ 11月17日（日） きらめき交流プラザ

にしきふるさとまつり 11月17日（日） 岩国高等学校広瀬分校及び
広瀬商店街

岩国の秋を味わうイベントのご紹介

ツール・ド・ゆう（由宇町） 11月23日（祝日）、24日（日） 銭壺山

八重桜植樹祭（周東町三瀬川） 11月20日（水） 三瀬川集会所下県道

周東食肉フェア（周東町） 11月24日（日）
周東ふれあい広場



柴田邸全景（南玄関より望む）



古民家再生自宅事務所

ピックアップ（地域で活躍する人を紹介します）

周東町祖きで建築設計業と農業を営む柴田康弘氏です。柴田さんは福岡県出身、仕事で岩国市街に在住し、建築設計の仕事をされていましたが、8年前に、農家の解体費用の見積もりを依頼されたのが現在住まわれている家です。調査に来て、取り壊すには惜しい古民家と感じ、買い上げて、改修して再生されました。所在地の環境も柴田さんの好みに合ったそうです。夏は南北に自然の風が通り抜け、冬は南北のそれぞれの廊下の効果で、薪ストーブ1台で十分な温度が確保できるそうです。古民家は改修することにより見事に蘇ります。

田舎には立派な柱、梁をもった築70年以上の古民家があり、傷んだ箇所を取り除き、自分の好みに合ったものにできる大きな楽しみがあるようです。田舎の自然の中で、自然の素材を活かした、大きな家、敷地でゆったりと自家製野菜・果物栽培などの生活を楽しみたいと思われる方は、是非、計画のひとつに入れてみてください。

事務局から

リタイアされた方、される予定の方で、田舎の古民家を再生し、ゆったりと田舎暮らしをされたい方に、古民家を実際に再生された例を紹介いたしました。夏に風通しがよく、冬は薪ストーブで過ごせる生活をどうぞ。